

雌阿寒岳

1 概況

火山性地震が下旬にやや増加しましたが、噴煙などの表面現象や地殻変動に変化はありませんでした。

2 噴煙活動の状況

ボンマチネシリ 96-1 火口の噴煙高度は 50 ~ 200m で推移し、特に異常は認められませんでした。

3 地震活動の状況

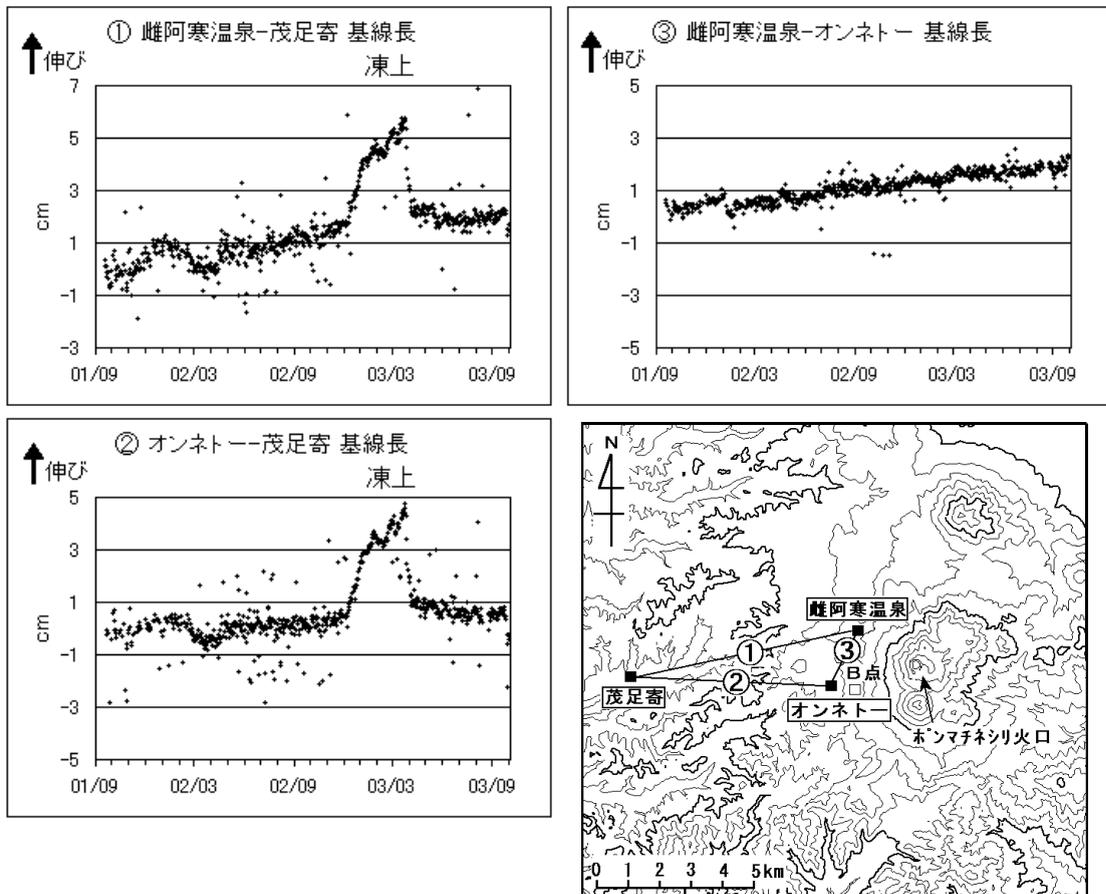
24 日 ~ 25 日に地震活動がやや活発な状態となりました。一連の地震活動はいずれも微小な規模で、震源はボンマチネシリ火口直下の浅いところと推定されます。火山性微動は観測されませんでした。

月別地震・微動回数 (B 点)

2002 ~ 2003 年	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
地震回数	21	20	39	204	83	223	375	163	155	113	195	156
微動回数	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0

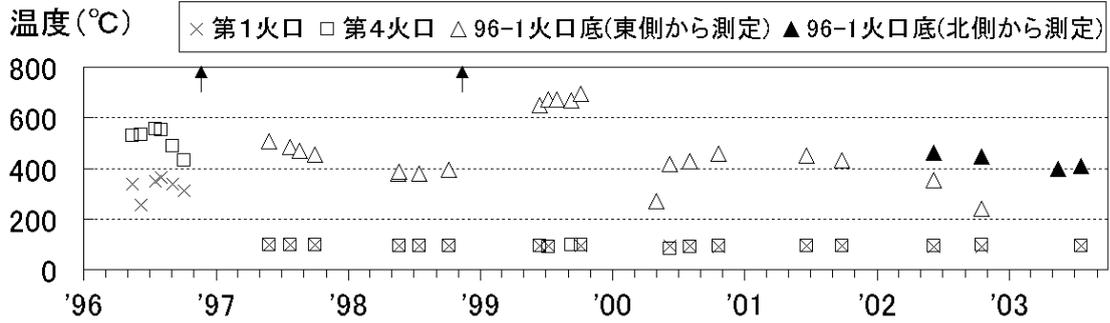
4 地殻変動の状況

G P S 観測で見られる基線長の変化は主に季節変動が原因と推定され、火山活動に起因すると考えられる変化はありません。

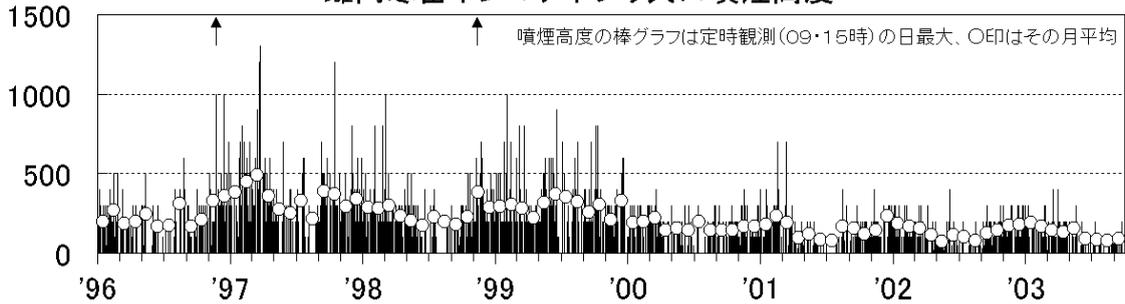


雌阿寒岳基線長変化 (2001 年 9 月 19 日 ~ 2003 年 9 月 30 日)

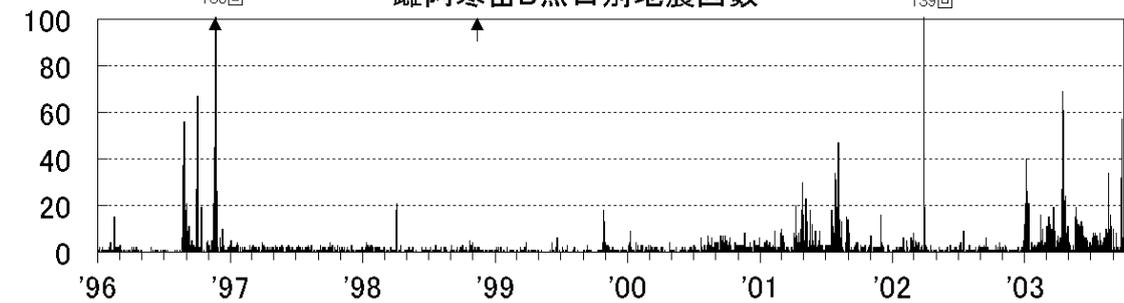
雌阿寒岳ポンマチネシリ火口温度



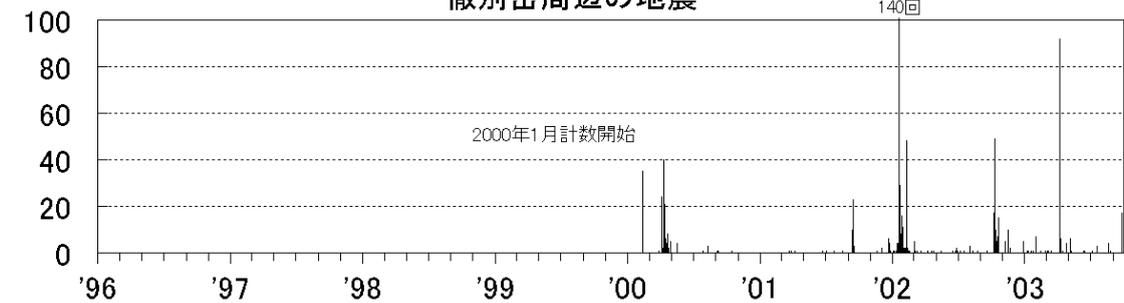
雌阿寒岳ポンマチネシリ火口噴煙高度



雌阿寒岳B点日別地震回数



雌阿寒岳周辺の地震



雌阿寒岳火山活動経過図(日別、1996年1月1日~2003年9月30日) 印は噴火